

## 第6回総務部会 議事録

(1)日 時：令和8年1月28日（水）午後7時より、（教育会館 第2研修室）

(2)参加者：委員（6名）欠席2名、事務局5名

(3)内 容

- ①部会長あいさつ
- ②協議・報告事項
  - (1)校章について
  - (2)校歌について
  - (3)校訓について
- ③その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議事項》

（校章の選定について）

（校歌について）

事務局 ・本日はまず校章について意見をお聞きしたいと思っている。次に校歌の作曲者の検討をお願いしたい。最後は校訓について意見をいただきたい。今日は三つの議題となるがよろしくをお願いしたい。

（校章について）

部会長 ・それでは今ほど説明があったように、校章及び校歌、校訓ということで、三つのテーマに沿って議事を進めていきたいと思う。それではまず校章についての現段階での状況説明をお願いしたい。

事務局 ・私の方から説明をさせていただく。資料1をご覧ください。昨年12月末から準備委員会並びに市の定例教育委員会において、校章のデザインの協議をいただいた。この過程でいくつかの修正の意見をいただいた。このような意見を取りまとめて、作者である勝山高校の上山さんという女の子が、お伝えしたところ、資料1のように修正していただいた。修正の内容はそこに書いたとおり、勝山の「勝」という字の10角目で開いてくるところは上の方で開いているということ、「山」という字の長さが少し長く見えるので、画数の少ない字は長く見えるので、バランスを取れるように少し短くしてもらった。この修正について、先般、準備委員全員の皆様方にメールで、このように修正を考えているということで審議いただいたが、反対であるとか、あるいはもっとこうの方がいいというような意見は特にいただけていない。全員の方に認めていただいたと考えている。この案をそういったことを添えて、1月20日の定例教育委員会に諮ったところ、皆様に了解をいただき、この修正した案を最終デザインということで、決定をいただいた。校章をどうするかという協議については、一応これで決定というふうにさせていただき終了となるが、今後校旗を作成する段になると、これまでに話させていただいたとおり、背景の色とかが必要になってくるので、今回は校旗などの作成に必要となる背景色についていくつかの案を準備させていただいた。本日は総務部会の皆様の方の意見をフリーにいただければと考えている。資料をもう一枚めくっていただくと、色のついたものが2枚あるが、この資料について少し説明をさせていただく。実は2年前に校名を決める時に

合わせて、スクールカラーとしてどのような色をイメージされますか？ということでアンケートを取らせていただいている。資料の一番右端に書かせていただいた表がその時の数値で、全部で885名の方から回答をいただいたうち、青色系とか緑色系と答えられる方が非常に多かった。それに続いて白、赤、オレンジというような形で、イメージされるような声が多かった。ここに出ている色を尊重して、サンプルとしては青色、それから紺色、それから緑色、あるいは緑と青が半分ずつぐらいだったので、青緑みたいな色で作ってみたというのが四つのものである。アンケートをそのまま受ければ、この青系であるとか緑系の色がいいのかなと考えているが、実はこのデザインをしていただいた高校生の方に、作者としてはどのような色を考えているんですか、参考までにお聞かせください、ということで、お尋ねをしたところ、このデザインがサツキの花をモチーフにしているということで、作者としては、もしその自分の希望が言えるのであればということで、サツキの色のようないろいろのものがいいのではないかなという提案をいただいた。合わせて、実はこの作者に色をお尋ねしたという時に、見ていただくと分かるかと思うが、オリジナルのデザインは花びらの部分が黒くなっているということで、その黒字に例えば金色なんかを載せると、花びらが金色になって勝山という文字が裏地になるというか、下地になるというような形になってしまう。そこで彼女が考えたのは、これを反転させたデザインというものも合わせて考えた。二つ出していただいたので、どちらか希望があるかということ聞いたが、特にこだわってというわけではなくて、背景の色を配慮するところなるのかなということで提案いただいたというものである。それぞれの色について反転した場合にどうなるのかというのがその下の段のものになる。勝山という文字に色がついて、花びらの部分に下地が出てくるといった形になる。こういったことで、いくつかのサンプルを用意させていただいたが、何色系がいいのかということと合わせて、反転させることについても、皆様方の意見も聞かせていただければと考えている。説明は以上だが、今日は何色にする、どういうふうにする、と完全に決めきらなくても、いろいろご意見をいただいて、皆様方の意見がこういう方向にあるということを確認させていただくことができれば、次回、3月に準備委員会を開くことになるが、その時にはもう少し絞った形で、校旗はこんな形でどうだろうということ全員の方に提案できるようなことになればいいかなと考えているので、今日は忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思う。以上になる。

部会長 ・今の説明があったように、先般の会合の時にも、皆さんに書面審査ということで、最終デザイン系については、先ほどの説明の通り、準備委員会の委員の方々からも異議が出なかったということで、最終デザインとしては、このオリジナルデザインという形のものに決定ということになったので、そのところはまず皆さんと情報は共有させていただく中で、今日意見をいただきたいと思うのは、今話したようにこの色デザインになる。その前にまず決定したデザインが説明があった通りだが、それが実際の色付けとか、背景色の反転とか、いろいろ説明があったが、この説明の中で何か分からなかったような点がもしあったら、質問いただければと思う。聞きたいこととか、その

他どんなことでも結構かと思う。その上でまた皆さんのいろいろな意見をうかがいたいと思うので、まずこの前の経緯について何か分からないところがあったら、どんなことでもいいのでいかがか。反転の違いはだいたいわかっていたか。とりあえずサンプルとしては青、紺、緑、青緑、ピンクという五色だが、特にこの色にこだわるわけではなくて、この後意見をいただく中で、色合いとか意見はうかがいたいと思う。よろしいか。特に質問はないか。それでは、説明いただいた件について、忌憚のない意見、例えば市民からのアンケートでは、青系が出てきているので青の方がいいのではないとか、制作者の思いを汲めばピンクもありかなとか、そういったことも含めて何か意見をいただければと思う。ただ青系なので、青といってもここに出された青がいいのかどうか、いろいろ色合いは出てこようかと思う。

- 委員 1 ・基本二色なのか。
- 事務局 ・金色と青とか、金色と紺とか、そういうもの。
- 委員 2 ・下地の色が花びらの色になる。
- 事務局 ・反転した形になると、そのような形になる。
- 部会長 ・ピンクというのは校旗自体がピンクということか。
- 事務局 ・そうなる。
- 委員 3 ・ピンクはあまりイメージにない。ピンクというと、何かスポーツ少年団という感じになる。応援旗のイメージに思う。
- 事務局 ・印刷した時に発色が少し違うので、スクリーンにも準備したので、ご覧いただきたい。
- (色の案(反転を含む)をスクリーンで投影)
- 事務局 ・これがピンクのオリジナルになる。これが反転した場合になる。これが青色になる。これが青色の反転になる。これがオリジナルでこれが反転になる。これが紺、印刷すると真っ暗になってしまう。これが青、紫にも見える。画面とはまた違う。青緑になると見えなくなってしまう。これが緑になる。これが反転になる。一応こんな感じになる。
- 部会長 ・実際見てみて、色は置いておいても、反転した方が勝山という字が浮いて出てくるように見える気がする。
- 事務局 ・これがオリジナルでこれが反転。勝山が金色になっているのが反転になる。
- 部会長 ・画面で見るとプリントとは違う。反転はベースの色と勝山は同じ。画面で見ると勝山が強く見える。プリントは勝山が沈んで見える。
- 委員 4 ・昔の話になるが、学生服を着ていて、ボタンに校章があつてというので、ボタンだったら勝山が浮き出ているといいかなと思う。今新しい中学校のだとブレザーだし、ブレザーはブレザーでワッペンがあるし、特に何か必要とするようなものがない。校旗作るにもその色の布で金糸で縫うということであれば、勝山がベースの色よりも金糸で縫ってある方が目立つかと思う。反転の方がいいというか、無難に緑がいいと思う。
- 事務局 ・そのような意見をいろいろ聞かせていただければと思う。
- 委員 5 ・個人的には勝山という字は金がいい。勝山というのを大事にして、その言葉を大事にしているという感じがする。
- 部会長 ・例えば勝山というイメージでパッと入ってくる方が、校章としては意味合いが強い気はする。

- 委員 6 ・例えば賞状とかに校章を入れるのであれば、このままでいいと思うが、校旗の場合、花びらの色が例えば下地の色になった場合、緑の葉っぱはおかしいので校旗を作る時ぐらい、この花びらの部分を白にするとかピンクにするとか、おもとの旗のベースは緑にしておいて、この校章だけ金を塗ったものと勝山を金の糸で縫ったもので、花びらの部分だけ白にするとか、花びらの部分だけ色付けするとどうか。
- 部会長 ・多色でも大丈夫なのか。
- 事務局 ・実際にものを作る時は、業者さんとどこまで何ができるかという相談になるうかと思う。
- 部会長 ・南部中は何色だったか。
- 事務局 ・エンジ色である。
- 部会長 ・もともとの勝中の色か。
- 委員 7 ・黒とか紺とかダークな色になってしまうとどうか。明るい色がいいかと思う。
- 部会長 ・緑にしてももう少し明るい緑もあるだろう。その辺はいろいろ選考しないと何とも言えない。
- 委員 8 ・ただ青緑は難しい。
- 部会長 ・少し光りすぎている。
- 委員 9 ・少し軽すぎる。見にくい。
- 事務局 ・デザインを金ということで考えているが、もし青緑にするのだったら白か何かで抜かないと見えない。
- 部会長 ・青緑が発光色のように見えるので、全体がボヤーンと見えてしまう。青緑は本当はこの色でないかもしれない。やはりできるだけベースもある程度ダークの色の方がいいのか。
- 委員 10 ・原色で赤から緑までの中間色を選んでいくのかどうか。目に優しい色。
- 部会長 ・今までの意見として共有できることは、反転文字が割といいというところかと思う。前の市民アンケートの色系。特にこれはこだわらなくていいのかどうか。青系とか緑系とか白とかあったが、これはもともとスクールカラーの色として、何色がいいかということだったのか。
- 事務局 ・当時はまだデザインも何もなかったので、単純に色は何色がいいですかと聞いただけである。
- 部会長 ・だからあまり特にこれにこだわる必要はないということになるのか。
- 事務局 ・最終的に決めたときにどうしてこういうな色になったのかという説明は必要かと思う。
- 部会長 ・今日今ここで決めるという話ではない。とりあえずいろいろ皆さんの意見を拾い上げていきたいということなので、どんなことでもあればお願いしたい。
- 委員 11 ・勝山の字が反転の方がいいなあと思う。
- 部会長 ・これはこれで我々の意見としていい。色合的にピンクというのはどうか。
- 委員 12 ・軽そうだ。金糸にしたときに引き立たない。
- 部会長 ・先ほど話しがあったように、バックの色ともう少し二色、三色ぐらい使うというような形で考えるというのものもあるかと思う。緑にピンクはどうか、映えるかな。その辺いろいろあたってみる必要はあると思う。今現在使われている中部中学校、北部中学校、南部中学校の校章と比べてどうか。今確かに反

- 転という字を浮きだたせるということがあったが。
- 委員 13 ・色的には濃いというか、格式のある重々しい色の方が、ふさわしいと思う。緑も深緑も悪くないが、青がやはりいいかな。もう少し濃くしてもいい。フォーマルな青。
- 部会長 ・青と紺の間ぐらいの色か。
- 委員 14 ・ネクタイが青になって、ブルーを基調としている色になった。南中はリボンがエンジで校章がエンジ。やはり統一を取っているので青にすると、リボンが水色の意味も通るかな。もしこの青だったら、葉っぱに緑を入れても悪くないなあと思いながら見ていた。あくまで個人的な意見になる。重々しい方がいいと思っている。
- 部会長 ・ネクタイのブルーというのは。
- 委員 15 ・しましまのブルー。
- 部会長 ・濃いブルーか。
- 委員 16 ・うすいブルー。市民アンケートでも青系と書いてある。九頭竜川とか。
- 委員 17 ・青だったら反転の方が一番見やすいかな。それを金糸にする。
- 部会長 ・反転を見せていただけるか。紫にしか見えない。
- 委員 18 ・真っ青は重みがどうか。
- 部会長 ・青に決めるという話でない、こういう理由でこういう色というルール。
- 事務局 ・前回の準備委員会の資料だが→3中学校の校旗の資料を回覧
- 委員 19 ・中部は青だった。水色というか。
- 委員 20 ・中部のネクタイは水色になっている。
- 部会長 ・そういう意図があったのか。
- 委員 21 ・よくわからない。
- 部会長 ・他に意見はないか。緑にこだわりがあるのか。
- 委員 22 ・決してこの緑ではなくて、深めの色で少し重みがあるようなもので青か緑。アンケートの結果でも青が一人多いだけで、青というとイメージ的に寒いかな。緑というと勝山は自然も豊かで地域的な色、勝山の四季は緑ではないか。四季まで濃い緑ではないにしても、そういったところも踏まえた中での緑もいいのではないか。
- 部会長 ・ベースとしての緑というと木々というイメージはある。水色というと九頭竜川、川の清流、中部中は水色といっても結構濃い、青といっても濃い。
- 委員 23 ・うす何とかという色だと、入学式や卒業式とかをしたときに、薄いな、重みがないなというところが、年を取った自分の意見になる。
- 部会長 ・重厚感ということか。
- 委員 24 ・今までの中学校でいうと紺色とかエンジを使っているのであれば、また使うのではなくて、新しい中学校として勝山学校ということであれば、イメージカラーも意識してどうかなと思う。
- 部会長 ・今のような意見もあるがどうか。
- 委員 25 ・緑も好きである。三中が使っていない色ということでは緑もある。青は何となく中部よりになってくるので、少しモヤモヤする人がいるかもしれない。
- 部会長 ・確かに中部を継承しているのかと思う人はいるかもしれない。
- 事務局 ・今の意見をうかがうと、重厚感のある濃い色にする、反転した形がいい、勝山という文字が浮かび上がる方がいいのではないかという意見、緑とか青と

か、新しい色で考えると緑もありかなという意見があった。このようなことを踏まえて、次回それに合うような形で提案をさせていただければと思う。とりあえず、それで一度考えて作ってみて、違うとなるかもしれないので、考えたい。

部会長 ・ 緑にしても色合いがいくつかあった方がいい。

事務局 ・ 少し深めの緑のいくつかのパターンと少し深めの青のいくつかのパターンが準備できればとは思う。

部会長 ・ この場で変えていくことができるといい。もう少し色を濃くとか。

事務局 ・ その準備はできていなくて。次回には準備を考えたい。

事務局 ・ そういことができるといい。少し勉強させてほしい。

(校歌について)

部会長 ・ 校章については、とりあえずここで区切りたい。次に前回の会議でもおおむね決まっていたかと思うが、校歌の選定ということで、作詞家は決まっている。作曲家はある程度委任ということで会議は終えていた。校歌の作曲家の選定状況について、説明をお願いしたい。

事務局 ・ 私の方から校歌について、まず作詞の大庭 桂さんとのやり取りについて報告をさせていただく。地元の方をお願いするというのは、我々の意見をできるだけ反映していただけるようにということで、非常にフレンドリーにいろいろな情報をくださるので、とりあえずお聞きしている内容と、進捗の状況について、お伝えできることだけ報告をさせていただきたいと思う。ただ、創作活動なので、この言葉をこう変えるとか、それは違うのではないかというの、なかなか口が挟みにくいということを理解いただきたい。大庭さんからお聞きしている内容だが、一つは歌詞は三番構成でいきたいなと思っている。それから近年の歌詞が、いろいろなことを詰め込むために非常に長いものが多い。子ども達が歌っている途中で嫌になるようなくらい長いものが多いので、そんなに長くないような歌詞の構成でいきたいと思っているというような意向を聞いている。それから歌詞に含めようと考えの言葉ということで、キーワードだけお聞きをしているが、一番は朝日とか、白雪とか、白山とか、学びとか、勝山中学校という学校名とか、こういったものを入れた構成にしたい。2番は水とか九頭竜とか、命とか、友とかで、最後は学校名というような形で考えている。それから三番は、父母とか、師とか、未来とか、個人の尊重とか、学校名で締める。このような構成を考えているという情報をお聞きしている。全く校歌とは別になるが、市民の皆さんから非常にたくさんの要望があるということと、もう一つは前々から言われていたが、校歌というのはどうしても威厳のあるというか、ある程度式典に歌ってもいいものだが、もっと軽いもので子ども達の応援歌みたいなものも作りたいたいという意向も持っておられて、何か「いけいけ勝山中学校」みたいな感じの曲も合わせて考えさせてほしいという意向は聞いている。これについては、進捗状況ということで報告とさせていただく。次に作曲について説明をさせていただく。資料2をご覧ください。前回も少し話をさせていただいたし、準備委員会の時にも頭出しをさせていただいたが、この大庭さんと非常に共作が多いということで、姫神さん。名前は星 吉紀さんだそうだが、この方をお願いをしてはどうかなと考えている。この方については、下に書

かせていただいた通り、岩手県の出身の方で、楽曲制作とか、合唱曲を作るとか、オーケストラの編曲とか、その他映像の音楽とかプラネタリウム音楽とか、ゲームの音楽とかCM音楽、非常にいろいろなことを手掛けられている方で、インターネットで姫神と探すと色々な曲が出てくる。東北の出身ということで、特に平泉というのはご縁で、平泉寺とも関係を持たれているのではないかと思うが、日本の古来の文化とか、伝統文化を大切にされた作品を作成されている。実は2017年に福井県の平泉寺で、白山太神楽ということで、コンサートのようなものをされている。プロジェクトマップングで、映像もあるが、お堂に映してこの曲を紹介された。組曲「白山」ということで、白嶺天照とか御阿礼とって神様が生まれることの意味だそうだが、そういった曲だとか、神巖の社とかこういった曲を発表されている。このときに平泉寺小学校のお子さんが一緒に「白山賛歌」を合唱している映像もインターネットでご覧いただくことができる。大庭さんとのコラボ曲としては、今ほど申し上げた「白山賛歌」のほかに「平泉賛歌」だとか「津軽石のきずな」とか「いわき いのちの賛歌」とか。校歌で申し上げますと、花巻市の東和小学校という学校だが、この学校の校歌の作詞というか、作詞指導推敲というようなことで協力をされているというようなことも聞いている。こういった方で、冒頭申し上げた通り、幅広くいろいろなことをやられているので、曲作りだけではなく、合唱譜の作成だとか、ピアノの譜面を書かれたりとか、歌唱入りのCDを作ったりとか、吹奏楽部用のアレンジ譜面を作ったりとか、こういったことも依頼できそうなので、この方に決めていただくということになれば、こういったものも合わせてお願いしたいと考えている。曲なので、今日は2、3曲、ここに紹介させていただいたものをご覧いただいて、この方でよろしいかを協議いただければと思う。しばらく音楽鑑賞タイムということでお願いします。最初は「平泉賛歌」、一番ずつぐらい聞いていただければと思う。

「平泉賛歌」を鑑賞、「白山賛歌」を鑑賞

この2曲は、白山賛歌とかそういったものを継承するような曲なので、神々しいという感じだが、次に聞いていただくのは東和小学校の校歌になる。

東和小学校の校歌を鑑賞

これが小学校の校歌になる。検討いただきたいと思う。

部会長 ・確かに賛歌はピンとこなかったが、最後のピアノ伴奏曲が入ってくると校歌という感じがする。聞きたいのは、応援歌と言ったが、校歌をアレンジして応援歌にするのか。

事務局 ・全く別になる。

部会長 ・全く新しい応援歌の作曲をしてもらおう。

事務局 ・そこのところを姫神さんにお問い合わせできるかどうか分からないが、場合によっては、ここの委員のどなたかやりたいという人にお問い合わせするとか、それは分からないが、詩としてはぜひ提供したいということ。いろいろ構想を持っておられて、掛け声は左義長の「浮いた、浮いた」を使いたいとか言われていた。子どもらが、運動会とか何か頑張ろうぜという時に歌えるような曲があるといいなということを考えておられるそうです。

部会長 ・今の応援歌はどうか。運動会は、各色ごとに分かれて応援歌をそれぞれで作

	<p>るのではないか。それ用にはちょっと使えない。</p>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし三色あったら同じ曲ではできない。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だからこれはどういう時に使うのか。大会の時とか。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大体今の中学校だと壮行会とかもあるので使う。地域移行になってくると、部活動は縮小になるので、学校で応援歌を歌って送り出すということが出来るのだろうかというのは心配にはなる。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に浸透して、市民がみんな歌うといい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実は南部中学校も、愛唱歌っぽい歌がある。</li> </ul>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アカシア賛歌がある。生徒が作詞をした。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か歌ったことはあるのか。</li> </ul>
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壮行会とかで歌ったこともある。コロナでやめてそれ以降歌わなくなった。吹奏楽部が演奏したりとかする。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援歌については、大庭さんの意向を踏まえての検討になる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あくまでも追加ということで。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日皆さんに決めていただきたいのは、先ほど紹介いただいた姫神さんという作曲家の方だが、これまで大庭さんと結構一緒に作られているケースが多いように聞いた。姫神さんに作曲をお願いしたらどうかという提案をいただいている。これについて皆さんの意見をお願いしたい。</li> </ul>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大庭さんが、共作が結構この人と多いということで、やはりやりやすいのだろう。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きっとそうなのだろう。</li> </ul>
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何曲もやっておられる。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の校歌は、作詞まで全部は聞き取れなかったが、メロディー的にはいい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大庭さんに作詞をお願いしに行った時に、お聞きしたら、一つはもちろん一緒に仕事をされているので、いろんなコミュニケーションがとれている。他にこの星 吉紀さんという姫神さんは奥州藤原の岩手県出身で、そういうこともあって勝山の自然環境と向こうの環境が、雪が冬は厳しいとかも似ているので、勝山にも仕事でさっきの白山賛歌のこととかで来られた時もあるし、勝山のことも町も知っている。そういうことで、頼んだ時にどういう風景を思い浮かべて作曲するかというのは、ある程度勝山をご存知のところもあるのではないかとみたいな、そういう話もいただいた。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在、岩手の方に住んでおられるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手と東京の2拠点ではないか。どちらが主か分からないが、レコーディングや何かとなると東京の方ではないか。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いかがか。何か異論はないか。前回どなたかご存知かと聞いた時も、出てこなかったと思う。事務局の方に一任という形で終えたかと思う。もし異議がなければ、今日の中では姫神さんをお願いするという事によろしいか。 (はいと言う声や頷き多数)</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では姫神さんで進めていただくということでお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは早速、アプローチをさせていただいて。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ連絡はとれていないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きっと大丈夫ではないかとは、大場さんからお聞きしているが、きちっとお</li> </ul>

	<p>願いをしたい。勝手に先走るといけない。ここで決めていただいたので、正式にお願いをするという形を、この後進めさせていただいて、準備委員会の時にはその進捗を報告させていただくという形を取らせていただきたいと思います。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多分、大庭さんの方からも内々に連絡がいつているかもしれない。</li> </ul>
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一ついいか。事務局が先ほど、大庭さんが白山を歌詞に入れたいということをやった。ちょっと無知なので笑われるかもしれないが、白山って石川県の山だ。白山神社という宗教がからんでくると、例えば外国人の方と結婚された方なら、子どもが通われるというところがあると、日本人からすれば白山神社だとかは厳かなのだが、白山は福井の山でもないし、白山神社を思い浮かべさせるようなことになると、差別ではないが、そういうものも入ってくるかなと思うので、もっと勝山のいい山を宣伝してもらって白山は省いてもらった方がいいのではないかな。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の校歌の中にも、白山を歌っている校歌も勝山の学校の中にもあるし、校歌のアンケートを取った時にも、白山はどうでしょうという意見も、かなりあった。宗教的に白山を取り上げるというよりも、自分たちが日ごろ目にする山という意味で、白山をというような意図で作っていいこうと考えておられるのではないかなと思う。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここにいても白山連峰は見える。やはり新雪の白山て何と綺麗なのだろうと市民はみんなあの山を見ると本当に綺麗だなと思う。そういった意味で今のようにならざる所にならざる所になると別だが、校歌というなかで、別に白山は福井のものではないとかそういうことではなくて、白山というものがここから見える以上、我々としても、白山はいつも見ながら生活をしているという環境に置かれているというようなところで、白山を、神社とか入れてしまおうとかえってややこしい話になってくると思うので、逆に白山という形でぼやかした方がいいのではないかな。</li> </ul>
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部中学校の校歌には白の山として入っている。モンブランまで入っている。あのランカシャーっていうのも入っている。</li> </ul>
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命。</li> </ul>
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その産業革命がランカシャーとか、私らは歌っていた。別に白山で、そこまで深く考えなくてもいいのではないかな。富士山。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山はさすがにちょっと無理だ。</li> </ul>
委員 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・でも白山はやはり北陸の山だ。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大師山なんかも入っているものがあつたのではないかな。</li> </ul>
委員 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部中になる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートで市民の方から出てきたキーワードを全てお渡しして、それをもとに考えていただいているので、そういう言葉も入ってくる。先ほどの小学校の校歌を聞いていただくと、校歌の場合は少し詞は宗教的なことはないと思う。</li> </ul>
委員 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村岡小学校は村岡山が校歌になっている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指摘ももっともだと思うので、事務局的には少し見せてもらったりとかいうこともお願いはできるかなと思う。いきなり出してしまうとできないが、そういうことも踏まえてさせていただくとか、そこは気を張っていきたいと思</li> </ul>

う。大丈夫だとは思っている。

部会長 ・今の議論の中心は何だったのか。  
事務局 ・まずは姫神さんでどうかということで。

部会長 ・そうだった。作曲は姫神さんにお願いするということによろしいか。ではよろしくお願ひしたい。

(校訓について)

部会長 ・では、続いて校訓について説明をお願いします。

事務局 ・私から説明をさせていただきます。

部会長 ・聞きたいのだが、校訓というのは何か。

事務局 ・校訓は、定義があるのかどうかだが、学校の教育目標、学校が目指すようなものを表している言葉。あまり細かい説明はできないがそういうもの。

委員1 ・社訓みたいなもの。

部会長 ・目指すべきことか。こういう子たちに育ててほしいとか。

事務局 ・そういう願ひが込められている。

部会長 ・分かった。

事務局 ・2ページにわたってあるが、1ページ目はまず部会長さんからあったが、校訓を考えるベースというか、事務局の思いとしては、基本計画に載せてある新中学校が目指す学校像、それから目指す生徒像で、これは新中学校の目指すものということなので、ここを大事にして、ワードにできればいいのかなと考えた。ちなみに三中学校の校訓もそこに書いてある通りで、南部が「自立 敬愛 協力」、中部が「奮起・自主・協同」、中黒のチョコボが入っている。北部は一文字ずつで「敬 愛 信」となっている。勝山高校は何だったか。

委員2 ・まことである。「真 誠 信」真実の真と信念の信とごんべんの誠。

事務局 ・校訓には漢字一文字ずつを並べているとか、2文字の自立 敬愛 協力みたいなものを並べるとか、あるいは並べずに一言で自立とか、いろいろなパターンがあるのかな。もちろん漢字のこういう形以外の校訓という短い言葉、メッセージ的なそういう学校もあるかなと思うし、決まりは何もない。そうは言っても、多分一番多いパターンはこういう漢字一文字だったり、あるいは二文字、三文字、四文字かもしれないが、こういうもので学校の目指すものを表しているというのが多いのかなと思って、それをベースに考えたのご理解いただければと思う。今日、素案と書いてあるように、頭出しということで、こんな中から決めようと思っているわけではなくて、事務局としてこんなものを考えてみたというふうに見ていただいて、いろいろと意見とか、皆さんそれぞれの思いも言っていただいて、それを踏まえて、さらに検討していくというように事務局は考えているので、そういうふうに聞いていただければと思う。2枚目だが、かっこでくくってあるのが校訓の素案ということで、いくつか考えた。一つ目が、漢字一文字を並べるというので、「挑・協・敬・志」というこの四つは、実は1ページ前の目指す生徒像というのが(1)から(4)まで四つある。これ全部チャレンジとかコラボレーションとか、シーで始まる単語をつけたので、4Cと勝手に言っているが、その4Cをそれぞれ一文字に象徴したというように考えた。一番が、何事にも自信を持って粘れ強く挑戦し、学び続けるのは「挑」という字で、二つ目の「協力」というのは、他者と協同になる。それから三つ目の「敬」というのはこ

こには「敬」という字は出てこないが、互いの良さを認め、尊重し関わり合う、敬うというような意味を込めて、案としては「敬」という字を使ったが、その横にあるように、代わりに、尊重の「尊」とか、互いに認め合っていることは、平和にみんなで行っていかうということなので、平和の「和」という、こんな字を、「敬」の代わりに当てはめてもいいのかなと思っている。それから最後は、自分らしい生き方を考えて、将来をデザインするというところで、これは「志」という言葉で象徴できないかなという、そんなふうにして字を当てた。それから二つ目は、「挑志・共創・敬愛」であまり聞きなれない言葉かなと思うが、これも生徒像四つをひとまとめにして、三つの言葉で表現したつもりという案になる。挑戦する志を持って、共に創り、互いを愛するというので考えた。その「挑志」という言葉はあまりないというので、例えばこれを「立志」という言葉にするとか、部分的に直していくことも当然ありだと思うので、そういうところを含んでこういうのはどうか。それからもう一つ減らして、二文字漢字を二つにして「挑志・共創」でこの「超志」というのは他の言葉に変わってもいいが、素案としては、この「挑志」というのが生徒像の（１）と（４）を合わせて表している言葉。挑戦し学び続け、将来への志を持つ。それから「共創」というのが生徒像の（２）と（３）をまとめて表していて、多様な人と共に学び、未来を創るということになる。次がその「共創」を残して新しく「志進」という言葉、まあ「共創」は申し上げたように生徒像の（２）と（３）で、その「志進」が生徒像の（１）と（４）という上の「挑志」に変わる言葉として考えてみた。文字通り志を持って前へ進んでいくということ。次が「創志・共進」ということで「創志」というのは、生徒像の（１）、（４）で未来を創り、自ら志を立てる。「共進」は、これは文字通り仲間と共に進み、成長していくとか、切磋琢磨というような意味をこめて、生徒像は（２）と（３）。基本的には生徒像四つを象徴的に表して作れないかと考えたところである。それから下にあるのは、生徒像から少し離れて、よく校訓などに他の学校でも見られるような言葉というようなもの、「飛翔」とか「和敬」、それから、ふるさとを愛しというのは生徒像のところには大きく出ていないので、「郷愛」とか「敬郷」という言葉とか、「挑進」、「自学」というこんな言葉もあるかな。ここの辺りは思いつくままに書いたという感じで、素案としては、括弧で括った五つ。こんなものを最初の頭出しとして、皆さんの意見をお聞きしたいということで、書かせていただいた。言葉自体は順番を入れ替えてもいいので、その辺は自由に、全部、中黒チョボが付いているが、とっていいし、その辺は柔軟にやっていけばいいし、新しいこういう言葉もいいのではないかとこのころとありがたいし、その辺りでぱっと見ていろいろと思われたことを教えていただくとありがたい。以上になる。

部会長 ・今、素案ということで、提案をいただいたが、基本的にはもともとあった新中学校が目指す生徒像をベースにして考えている。先ほどの話のようにこれは何文字でもいいし、一文字でもいいし、一言で終わってしまってもいい。どこでも、これは三つぐらいあるのか。南部だと「自立 敬愛 協力」とあるが、三つぐらいの校訓が多いのか。勝高もまことは三つか。

委員 3 ・南部中は最初、敬愛と協力だけだった。自立が後からついたみたいだ。

委員 4	・ だいたい体育館の正面にかけてあるものかな。あまりよく見ていない。
部会長	・ 基本的に子ども達分かる言葉がいいのではないかな。
事務局	・ 分かるというより、たぶんその校長先生が折に触れて、校訓はこういう思いが込められているんだよと子ども達に語っていくとか、そういう中で頭に入れていく、擦り込んでいくというような感じだと思う。
部会長	・ 自分の会社で、毎年その年の目標というのを二文字にして社員に出す。今年「凌駕」(りょうが)という言葉にされていて、誰よりも先んじて先を進むというのが、今年目標ということで、社員に言っている。だから結構そうやっていくと二文字のものは結構意外と色々な意味合いで引っ張ってこれるような文字が結構ある。過去12年間、ずっとそういうのを書いている。基本的に生徒像というところでこだわってやるとすると、一番最初の「挑協・敬・志」という言葉がある。基本的なストレートが一番フィットする文字かなという感じがする。
委員 5	・ 難しい言葉だなと思って、一番本当にそれていないのは、「挑 協・敬・志」だが、私なんかだと「自他共生」とか、四字熟語みたいな感じのものがパッと入ってくる。難しい聞いたことがないような言葉がある。ただし書きがあるから、そうかなと思うが難しい。
部会長	・ 最終的にはこれはどういうふうな形で校訓は決定していくのか。いろいろ意見をいただいてここで決めるのか。
事務局	・ 新しい学校の一番根幹になるような言葉だと思うので、部会や準備委員会だけではなく、教育委員会とか、いろいろ意見も広く聞きながら決定したいと思っている。新しい学校だから校長先生はいないので、そういう意味ではやはり教育委員会とかで決めるのかと思う。
委員 6	・ 子ども達が言いやすいものかということと一文字で四つポンポンポンというよりは、熟語になっていた方が子どもの頭に入るかなと思う。黒チョボは個人的には好きではない。もし玄関に書いた時にチョボが入っていると何か違和感がある。
部会長	・ 「挑志」というのは聞き慣れていないからピンとこないが、確かに意味合い的には分かる。ちょうしというゴンベンの「調子」という言葉がまず浮かんでしまう。
事務局	・ 言葉の読んだ時のイメージはあると思うので、例えば「挑」という字が何か飛び跳ねているとか、そんなイメージでも見えたりする。ちょうと聞いた時に挑戦の挑なのか、飛び跳ねる蝶なのか、一文字だと分からないところもあったりとかする。イメージは人それぞれなので難しい。
部会長	・ 「立志」というとこれは完全にイメージできる。ごろ合わせという言い方をするとおかしいが、言葉の発するイメージというの、結構大事な部分があるのかなという気がする。「共創」も馴染んでいるので、こういう言葉はわりとすんなり入りそう。「志進」というと先を進める指の針か。指針という言葉が、文字からどの漢字がイメージされるのかということも大事なところがあるのかなという気もしないでもない。「創志」、相思相愛、全然違う。そういう捉え方をしてはダメなのだろう。
事務局	・ 耳で聞くと、同じだろうというのは当然ある。書いて額を作るかどうかはわからないが、これは学校が子ども達にきちんと伝えていくというものではあ

	<p>るかと思っている。</p>
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはりなじませていくというものか。</li> <li>・ちなみにAIでこういう漢字を使っている学校はあるのかと聞いたら、学校の校訓が全部出ているわけではないから分からないがというただし書きで、あんまりないという。ただ「創志」というのは、校訓にはないが、学校名に私立の学校名として創志学園みたいな感じで使っているのはあると出ていた。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらかというところにあるこの六つの文字が非常にスーッと入ってくる。最初に四つで表そうというところから入った方がいいのか、それともそれはあまりこだわらずに三文字で四つの中学校の生徒像を表すと決めて作りに入った方がいいのか。</li> </ul>
委員7 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・響きはいいなあと思うが、「挑志」という単語はあるのか。</li> <li>・辞書を引いても出てこないと思う。</li> </ul>
委員8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ないので、どういう意味かなと生徒が辞書を引いた時に、何だこの言葉となってしまうと思うので、それだったら中学生ということであれば、1年生から3年生まで分かるように、「挑戦」、「協同」とかみたいな感じでいいのではないか。本当にここにも書いてあるように「志」。どういうふうに進路を進もうかということがわからない中で、挑戦はするよというので、「挑戦」という言葉と、教育のところでいろいろ「協同」という言葉も使われるので、学校でもそれは大事だということで、「協同」を入れたりだとか、そういう感じの方がいろいろな中学生のレベルがあると思うし、理解しやすい言葉の方が響きやすいのかと思う。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えばこの生徒像の中にある今言われるような言葉として、「挑戦」、「協同」、「尊重」、そして最後のところは「創造」。ストレートにその四つをあてるというのも方法ではないか。確かにない漢字を使うのはどうか。実際に辞書を引いても出てこない字をあてるというのは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは個人的な思いとしては、別に構わないのではないかと思います。その言葉にこういう意味を持たせて子どもに伝えるということであれば、別に辞書になくてもいいのではないかと。何か今度の新しい中学校ってユニークなものを作ったなみたいな、そういうのもいいかなと思う。しかし、その「挑志」という言葉を事務局で考えたが、これが気に入っているわけでもない。いろいろみんな意見があるので、そこはあまりこだわらなくてもいいかと思う。だから、あまり辞書とか古典から引っ張ってくるとかとなるとよく似た言葉、いろいろな学校に使われている言葉はある。その辺の兼ね合いになるか。もう一つは目指す生徒像というのを、今回基本計画に入れたが、これはかなり長持ちすると言ってしまう方が悪いが、とても大事なことかなと思ってやっている。しかし時代も変わり、少しこの辺も変わってくると、そこだけをルーツにした校訓だとどうかなと思ったり、校訓は変えてもいいのではないかと思う。ころころ毎年変えるものではないが、そういう含みで案としては生徒像にこだわって作ったらいいかないかと思った。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の書き方としてホップ、ステップ、ジャンプみたいに、最初これ、次にこれ、次これ、次このを目指そうとか。会社だと毎年だからこれはやりやすい。去年これやったから、これをさらに1個といたらこのテーマで行くぞとい</li> </ul>

うのが作りやすい。毎年変えるから。そういった点で、こういうふうなステップで目指すような学生を作りたいというものを、底辺からあげていくというのは、文字の立ち上げ方というのも面白いかなと思う。何の文字がいいのか分からないが。

委員 9 ・辞書を引かなくてもいいと思うようなこういう願いを持つての漢字をあててやっているという意味合いを理解させてもらっての発言として、この二つ目の「挑志・共創・敬愛」がある。四つの中であっさりしていいなと思う。すごくまとまっているなと思うが、「共創」の「共」が協力の「協」の方がいいのではないかなと思う。共に何かをするという、その共にというよりも協力、きょうと言うと、協力というイメージが強いので、みんなが協力して支え合って頑張るといようなイメージの「協」の漢字を使う方がいいかなと思った。

委員 10 ・私は「立志」という言葉は好きだなと思いながら見ていた。「挑志」というよりも個人的には「立志」の言葉は好きだ。「挑」という字が何か強い感じがするなあとと思う。だからいいということもあるし、どれとは言いにくい。

委員 11 ・私は二文字の三つが好きで、二字熟語の三つ、四つは多いかなと思う。やはり三つかなと思う。2番目の「挑志」というところに何かいい言葉がないかなと思う。その「共創・敬愛」はいいかなと思っていて、挑戦することがわかるいい言葉がないかなとか思っていて、立志というのでもいいが、別の言葉でいい言葉がないかなと考えている。まこともいいが、まことはどういう由来なのかよく分からない。多分あったと思うが、今勝高にもいろんなキャッチフレーズがあって、進化のまちで「シンカ」するとか、四つのシンカとか、スクールポリシーとかある。校訓の場合は、だいたい二文字でちょうど縦に二文字、二文字、二文字で書くとする二文字三つでやった方がいいのかなと思う。体育館にでっかく書いて納まりがいいのも三つかなと思うと、これかなという気がしていたが、何かいい言葉がないかなと思った。大きな心を持って頑張るぞみたいなそれを表す言葉がないかなと思って chatGPT に聞いたが、出てこなかった。

部会長 ・挑むという言葉自体がインパクトが強い。

委員 12 ・「創志」もいいと思ったが「共創」がある。

委員 13 ・「創志」、「共創」がいいのではないかな。

事務局 ・創るという「創」が二か所になる。

事務局 ・なかなか難しい。そういう意味で、あまり狭いところで決めずに、どうかといういろいろ広げて聞いてみてと思っている。あまり広げると混乱してしまうので考える。

部会長 ・とりあえずだいたい皆さんの趣旨とかわかっていただいたので、例えばもう一度このメンバーの中で何かいい言葉があったら、事務局の方へ提案をさせてもらうということでしょうか。

事務局 ・もし思いついたら言っていただけるとありがたい。

委員 13 ・子どもが見た時に、何かイメージできるものでないと難しい。

部会長 ・頭の中の語彙力だけではなかなか難しい。

事務局 ・今日は頭出しということで、感想とかいろいろな思いも聞かせていただいた。少し事務局でも考えてみる。

部会長	・方向性として、二文字を三つぐらいのものが、確かに校訓のイメージとしてはいいのかという感じがする。そういったことを前提に皆さん一度考えてほしい。今すぐという話ではないだろう。
事務局 部会長	・今年度中とかではないが、できるだけ早く決めたいとは思っている。 ・とりあえず、例えば来月中頃までに何か、いくら日が経っても多分出てこないと思うので、その辺までのリミットで何か案があったら出していただきたい。
事務局	・思い浮かべられたら教えてほしいし、基本として、この目指す生徒像を象徴していくという方向で考えることでよろしいか。あまり広げすぎると分からなくなるので、そういうことをベースに何かふさわしい言葉があるかを考えてみる。
部会長	・そういうことでよろしいか。皆さんの方から何か案があったら事務局の方に出していただくということで、総務部会をもう一回した方がいいのか。
事務局	・メールだけで構わない。
事務局	・一応今日の協議はここまでということではよろしいか。
部会長	・では、ぜひ皆さん何か案があったら、出していただくということで今日は終わりたいと思う。どうもありがとうございました。
事務局	・どうもお忙しい中、ありがとうございました。たくさんの意見をいただきながら、大きな宿題になってしまいました。また、ご意見をいただくとありがたいと思う。また今年度最後の再編準備委員会を3月中に開催する予定である。案内を差し上げるが、今回は以上で総務部会を終了する。どうもありがとうございました。

資料1. 校章デザインの微修正について

資料2. 校歌（作曲）について